

宛先：

照会：

用件：学校区は以下を提案します：

- 評価
- 個別指導プログラム(IEP)・その修正
- レベル・クラス・学校等の指定
- その他： _____

(詳細を記入)

告知日付：

当学校区は、該当生徒に関し検討し、貴殿の意見を取り入れながら提案を作成しました。当連絡書の第2ページに当方の行動計画とその理由を記します。

ご承知の通り、特殊教育に関する法規は、貴殿と貴殿の子弟を保護するものです。同封のParents' Rights Brochure (「父兄の権利小冊子」)に、この件に関する貴殿の権利についての説明があります。同小冊子には、貴殿が貴殿の権利を理解する助けとなるよう、問い合わせ先が載っています。決定を下す前に、この小冊子と同封の資料をよくお読みになることが必要です。

貴殿の権利と学校区の提案に関し、学校区の教職員は貴殿と話し合いをもつ用意があります。ご質問があれば、お電話を下さるよう、強くお勧めします。下記の学校区担当員にご連絡ください。よろしくお願いたします。

評価同意書、個別指導プログラム (IEP) または個別指導プログラム (IEP) 修正版は、貴殿の決定のいかんにかかわらず、当方に署名したものを1部保管することが法で義務付けられていますので、署名して返送していただくかなければなりません。下記の日付以前に、なるべく速やかにご返送ください。よろしくお願いたします。

文書返送期日：

学校区担当者：

連絡情報：

同封：

- Parents' Rights Brochure
- その他：

照会：

告知の日付：

学校教職員への指示事項：

話し合い後、当告知を個別指導プログラム(IEP)、個別指導プログラム(IEP)修正案、または延長評価書に添付してください。当告知は、父兄宛てに、彼らの母語で郵送、または父兄が用いるその他のコミュニケーションの手段を使って送達されなければなりません。学校区は、父兄がこの告知の内容を確実に理解することを保証することが義務付けられています。(連邦政府法規第300.503条)

次の活動の1つ以上を説明しなさい：初期評価、再評価、緊急評価、延長評価の期間、個別指導プログラム(IEP)、個別指導プログラム(IEP)修正版、レベル・クラス等の決定(学校の指定、および交通手段の必要条件があれば明記)、卒業。さらに、特殊教育補助業務内容の確認・評価・教育機関の指定・業務の提供に関し、プロポーザルに基づいてそれを開始・変更する場合、以下の質問に答えてプロポーザルを説明してください。

1. 学校区が提案している活動とは何か。
2. 学校区はどんなことに対処しようとしているのか。
3. 拒否されたオプションがあったか。あれば、各オプションについて、拒否の理由。
4. 提案されている活動について、どんな評価手段、テスト、記録、報告がなされたか。
5. 学校区の下した決定に関連のあるその他の要素。
6. 今後とるべき手段が推薦されていれば、それを記載。

学校区プロポーザルの記述